

COMPASS

知る力・想像する力・そしてその先へ



今年度の進路指導

Covid-19（通称コロナ）の発生が確認されてから1年以上が経ちます。この一年で私たちの生活様式も変わらざるを得ませんでした。現在の9年生は学校見学に行けなかったり、突然の入試方法の変更があったりと多くの不安を抱えながらの進路選択でした。また、保護者の方もこれまでの事例が参考にならず、心配の絶えない日々を過ごされたのではないのでしょうか。今年度の進路指導の状況を少しお知らせしますので、7、8年生の保護者の方の参考になればと思います。

【9年生の大まかな1年間の取組】

- 4～7月 自己分析・高校調べ・面接指導（オンライン上にて）
- 9月 進路説明会・私立帰国生入試開始
- 10月 実力テスト（志望校判定あり）
- 11月 成績開示・推薦入試希望者締切
- 9～12月 模擬面接・進路選択
- 1月 公立高校入試準備開始

なお、現在9年生のほとんどが日本に帰国をしているか、近いうちに帰国をします。しかし、出願書類や調査書は受験校ごとに様々な制約があり、帰国時にお渡しできないことが多くあります。郵便事情もいつどうなるか分かりません。現在もタイに残られている保護者の方に、必要書類を取りに来ていただいております。また、書類に訂正や不備があるとその都度足を運んでいただいております。これからタイの状況がどう変わるかはわかりませんが、7、8年生も早めに進路についてよく考え、情報収集をしておくことをお勧めします。



2021年に向けて

昨年はコロナ感染拡大により、1学期は新たな試みとして配信による授業の実施、そして分散登校、2学期は通常登校再開となりました。ご家庭でのたくさんのご協力、ありがとうございました。そしてまた、3学期は配信による授業の再開です。仕方のないこととわかっていても、どうしようもない気持ちになっている方も多くいらっしゃったのではないのでしょうか。前回は初めてということもあり、教員生徒共に戸惑うことも多かったと思いますが、今回は前回の反省と経験を活かし、また一歩進んだ学びができたのではないのでしょうか。

世界的に見てもまだまだ大変な状況は続いています。新型コロナウイルスの件で、世界中の人たちが、「生活・仕事・学習」の仕方を今一度考えなおす時が来た、ということに気が始めました。そして、解決策のない問題が起こること、今までの価値観が一瞬にして変わることがあるという現実を突きつけられました。しかし幸いなことに、一人一人の目の前にはたくさんの選択肢があることに気付く機会にもなりました。例えば、タイに残って進学すること、生徒一人日本に帰って進学すること、家族で日本に帰って進学すること、日本、タイ以外

の国に留学すること、これらは選べる選択肢です。新しい選択肢を発見した生徒もいました。多少の制約はあるかもしれませんが、どの選択をしたとしても、それが正しい、間違っているということではありません。どの選択肢にもそれぞれメリット、デメリットはあります。「選択ができる状況にある」ということが重要なことです。どの選択であっても、それが自分または生徒にとって正解だったかどうかは、選択をした後の行動次第なのではないのでしょうか。

先日の新聞記事に以下のような記事が掲載されていました。塾に行けない高校生が、成績を上げるために、自分で授業を再現してみたら成績が急上昇したという内容です。（リンクをご参照下さい。）小さいホワイトボードを黒板に見立てて、「セルフ授業」をしたそうです。9年生は昨年度、英語の授業の中で、自分たちで授業を作ってみようという授業を行いました。自分で授業をするということは、大切なポイントが自分わかっているということです。興味があればぜひ参考にし、自分にとって最適の勉強方法を見つけたいと思います。

